

カナダの金融市場動向 Weekly Report

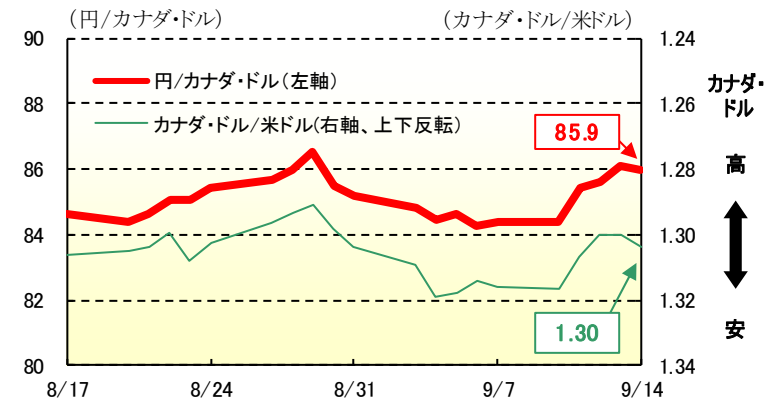
【2018年9月8日～2018年9月14日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円は上昇しました。カナダ5年国債利回りは上昇しました。

週前半に、トランプ米大統領がカナダとのNAFTA（北米自由貿易協定）再交渉が非常にうまく進んでいると発言したことでカナダ・ドルは上昇しました。また、大型ハリケーンが米東海岸に上陸との予報で原油価格が上昇したことも支援材料となりました。しかし、NAFTA再交渉に具体的な進展がなかったため、週後半のカナダ・ドルは対米ドルで上げ幅を縮小しました。対円では円安の進行により上昇しました。国債金利は米国債に連動して上昇しました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年8月17日～2018年9月14日)



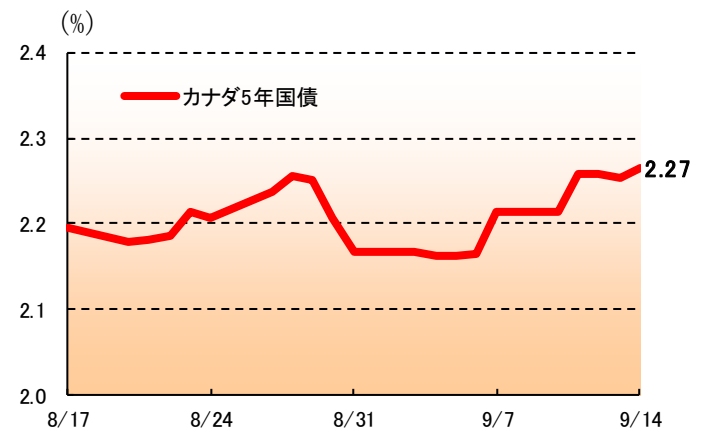
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

今週は、小売売上高やCPI(消費者物価指数)などの発表が予定されています。

市場での注目は引き続きNAFTA再交渉の動向です。米国は17日(現地、以下同様)に、第三弾の対中関税引き上げを発表し、貿易対立における強硬姿勢を見せました。カナダに対しても、米国は強硬的な姿勢を維持し譲歩を求めるものとみられます。対して、18日にはトルドー首相による「NAFTA再交渉はまだ決断するところ達していない」との発言が報じられるなど、カナダ側も譲歩する姿勢を見せていません。引き続き、NAFTA再交渉に関する報道と合意への思惑がカナダ・ドル円を左右しそうです。

【カナダ 金利推移】 (2018年8月17日～2018年9月14日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>